

# SAJ

## サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌  
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

### Vol.47

2022.7・8月号

## 2年半ぶり！ 「カンボジア教育支援 視察ツアー」開催！



OGOB会



孤児院の前で



学校調査



給食調査

6月14日から17日にかけて、コロナ禍によって2年半開催されていなかった「カンボジア教育支援視察ツアー」を開催いたしました。久しぶりの開催でしたが、24名の方が参加してくださり、そのうち15名の方が初めての参加となりました。かなりタイトな日程ではありましたが、充実したツアーとなりました。



# 支援活動のご報告 (指定寄附別)

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

## 特別編 | カンボジアツアー報告

2022年6月14日～17日

### 1日目：入国夕食会

2年半ぶりのカンボジア入国となりました。  
2日目は朝早くからPCR検査を受ける必要あるため、初日は夕食会の後ホテルへ行き解散しました。



### 2日目：孤児院訪問 / OBOG 会を初開催

#### 孤児院訪問

2日目は朝からPCR検査を受け、孤児院へ向かいました。初めてツアーの皆様を受け入れる子も多く、皆とても嬉しそうに参加者様を受け入れてくれました。子どもたちは参加者様に伝統舞踊を披露し、一緒に昼食を食べ、一緒に遊びました。最後には日本語で歌のプレゼントをくれました。



2年ぶりに直接会い、再会を喜びました。

#### OBOG 会を初開催

孤児院訪問の後、プノンペン市内に戻り、ツアーでは初めての孤児院 OBOG 会を開催しました。卒園以来あっていたいなかった子たちも、社会で働き活躍している子や、母親になった子、医学部で頑張っている子など、みんな大きく成長している姿を見せてくれました。OBOG 同士も久しぶりの再会に喜びあっていました。



OBOG 会の様子



みんなで孤児院のカレーを食べました。



代表と卒園以来初めての再会



### 3日目：朝給食・学校調査 / ARS 調査

#### 朝給食・学校調査

3日目は朝から貧しい地域の朝給食を提供している学校の様子を見学しました。またその学校に通う子どもの家を訪ねました。彼は小学6年生ですが、両親が出稼ぎに行っており一人暮らしで暮らしていました。まだまだ貧しく苦勞している子どもが多いことを痛感しました。

その後、学校を建設するかどうか決める学校調査を行いました。SAJでは建設前に必ず3回学校調査をしますが、ツアーで参加者様に調査をお見せするのは久しぶりでした。

#### ARS 調査

3日目の午後はARS(日本の送り出し機関)に見学に行きました。まだ開設して日が浅い施設ですが、生徒はみな元気よく、楽しそうに日本語を学んでいました。



小学6年生、この小屋に一人で住んでいます。



楽しく日本語を学んでいました。



学校調査の様子

#### ツアーの感想 河原 哲史様

カンボジアへの支援活動を行なっていることは、以前から知っており、いつか現地に行ってみたくて思っていて、今回ようやくそれが実現できました。

まず驚いたのは、プノンペン市内から孤児院までの移動です。25名の参加者と一緒に観光バスで4時間かけて、悪路を経てようやく到着しました。孤児院に到着すると、子供たち、スタッフ全員が外まで出てお迎えしてくれて、移動の苦勞などいっぺんに吹き飛びました。

子ども達と一緒に給食を食べる機会があり、通訳を通じての会話でしたが、その時間が今回の視察の中で一番心に残っています。わずか数時間の滞在でしたが、帰る際には子ども達と別れるのが、とても寂しい気持ちになりました。

帰国後、今回の視察の経験を振り返り、里親制度に参加する決意をしました。里親制度に参加させてもらうことにより、自分自身の大きな柱が一つできた気がしています。次回は里子に会いにカンボジアへ行きたいと思っています。



#### 次回ツアーのご案内

2023年1月バングラデシュツアー  
 次回のツアーはNDMSC(ナラヤンクル・ドリーム・モデル・スクール&カレッジ)の開校10周年に際して、来年1月にバングラデシュでのツアーを予定しております。ご案内は期日が近づきましたら改めてお送りいたします。ぜひご参加ください!



## 2022年度SAJ通常総会の報告

《構成メンバー》

■代表理事：渡邊美樹

■理事：鳥井親一、清水和雄、  
武長彩子、高橋亮

■業務執行理事：青木茂雄

■評議員：大江光正、清水邦晃、鎌田厚司、矢野博文、  
戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美

■監事：片山進平、清野貴彦

2022年度SAJ通常総会が2022年6月27日に開催されました。(場所：ワタミ本社)

#### [報告事項]

議案1：令和3年度(2021年度)事業報告・収支決算報告の検討と承認

報告1：SAJカンボジアツアー報告

孤児院 ライブコミュニケーション(初顔合わせの里親様と里子のふれあい)

報告2：令和4年度(2022年度)事業計画・収支予算の報告

議案2：代表理事の重任の承認

今後の予定

9月26日…理事評議員会

10月24日…理事評議員会



約2年半ぶりにカンボジアへ教育支援ツアーに行っていました。やっと孤児院の子どもたちに会える。24名の支援者様とともに、ワクワクして孤児院に向かいました。孤児院はここ数年、開園時に入園した子どもたちの卒園ピークを迎えています。そのため、この2年半の間に新たに入園した子がたくさんいます。初めて会う幼い子どもたちのキラキラした目を見ながら、「また新しいサイクルが始まった。この子どもたちの夢に寄り添って行こう」と、気持ちが引き締まる思いでした。今回のツアーの目玉は、初開催となる孤児院OBOG会でした。37名ものOBOGが集い、以前孤児院で働いていた日本人スタッフも参加し、盛大な会となりました。OBOGの多くはSAJの奨学金制度を利用し大学に進学しています。大学で看護師の資格を取り、卒業して病院で活躍しているOGもいます。しかし、努力して大学に進学したにも関わらず、結婚や様々な理由で大学を辞めてしまった子も少なくありません。その中の一人にリーマーがいます。孤児院に入園する前、リーマーの父親は行方不明で母親は大病を患い、彼女は学校が終わると毎日ゴミ山に向かい、ゴミを拾って稼いだお金で母親の薬を買っていました。リーマーの母親は「私はもうすぐ死んでしまうので、賢く優しいこの子を園に入れて勉強させてほしい」と私に懇願しました。次にリーマーに会いに行った時、母親はすでに他界しており、彼女は孤児院に入園しました。そして、学校ではクラスでトップクラスの成績を保ち続け、母親の願い

通り、プノンペン大学日本語学科に入学したのです。しかし、彼女は大学2年生の時に突然結婚し、退学してしまいました。子どもも生まれ、彼女は現在とても貧しい生活を強いられています。私はリーマーに会ったら、母親の願いをないがしろにして勝手に大学を中退したことを叱ろうと考えていました。卒業して就職してから結婚・出産すれば、もっと豊かな生活ができたろうに、と。けれどもいざ、リーマーと彼女の子ども、夫を目の前にすると、そんな思いは消し飛びました。小さなころから見てきたリーマーが今は母親になり、貧しいながらも夫と子どもと幸せそうにしている。そんな姿を見ていたら「ただ幸せでいてくれるだけでいい」「立派に生きてくれるだけでいい」と心から思い、涙が溢れました。一生ゴミ山で働いていたかもしれない子が、家族を持ち幸せに暮らしているのは、まぎれもない奇跡です。そしてその奇跡は、支援してくださる里親様がいらっやしてこそです。孤児院では、新しい子が増え、新たに里親様を必要としています。どうか、里親をやっていただけの方を紹介してください。



リーマー

## ふれあいサポーター募集

文房具や制服がないため学校に通えない子どもたちが増えています。ふれあいサポーターになって「子どもたちの学習の機会を守っていききたい」と思われる方は、SAJ事務局までご連絡ください。

※ふれあいサポートに関しましては、会員に加入が必要となります。あらかじめご了承ください。  
※ご不明な点、ご質問等ございましたらお気軽にSAJ事務局までご連絡ください。



## ご支援いただいた寄附

2022年

5月の寄附金合計	12,631,280円
(内訳) 会員会費	3,344,960円
一般寄附	135,120円
指定寄附	9,151,300円

## 募金箱回収ありがとうございました

2022年5月募金箱回収

□ワタミ(株)  
「三代目鳥メロ」今池店、岸和田駅前店



募金箱回収して下さった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2022年1月現在のものです。  
募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

## 物品寄附

現在、孤児院ではノートパソコンおよびスマートフォンが不足しております。リモートによる授業やzoomによるコミュニケーションが増えたからです。以前使用していたものや、買い替えで不要になる方がいらっやいましたらよろしく願います！



## これまでの実績

いただいた寄附金の累計額 (2001年度～2021年度) <b>34億</b> 629万1651円	現在、SAJの建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数 (2022年3月現在) <b>106,542人</b>	SAJの建設した学校でお米を受け取った児童数の累計 (2006年度～2021年度) <b>14,495人</b>
建設した学校の合計 (2001年度～2021年度) <b>333校</b>	ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計 (2003年度～2021年度) <b>18,551人</b>	SAJの建設した学校で朝給食を支給された児童数の累計 (2006年度～2021年度) <b>134,398人</b>

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費	一般寄附	指定寄附 (使い道を指定する寄附)
会員会費(年額) 1口 12,000円 法人会費(年額) 1口 120,000円	用途は指定しないで金額も自由な寄附	●学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附 ●ふれあいサポートプラン(一口12,000円から) ●食の支援寄附(金額自由) ●孤児院運営寄附(金額自由) ●孤児院運営会費(12,000円/月) ●孤児院里親会費(12,000円/月) ●奨学金寄附(金額自由) ●学校運営寄附(パングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://www.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>



会費・寄附金のお振込み

●郵便局: 00140-5-345903

●三井住友銀行: 蒲田支店(普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。